

2023年3月31日

SMBC日興証券株式会社
ANAホールディングス株式会社

**「高専インカレチャレンジ第三弾」を開催
最終審査会にて、未来を担う高専生が独創的なビジネスアイデアを発表**

本プレスリリース要旨

- SMBC日興証券とANAホールディングスは、3月30日に「高専インカレチャレンジ第三弾」の最終審査会を実施しました。
- 全国の高専生17名が5チームに分かれ、ANAホールディングスから出題された2つの実践課題に取り組み、起業家を中心とする高専卒業生のメンターからの助言を受けながらアイデアを競い合いました。
- 最優秀賞には、小中学生がゲーム感覚でアップサイクルについて学べるパズルゲームなどを発表した「アップサイクル×教育」チームが選ばれました。

SMBC日興証券株式会社(代表取締役社長(CEO):近藤 雄一郎、本社所在地:東京都千代田区、以下「SMBC日興証券」)、ANAホールディングス株式会社(代表取締役社長:芝田 浩二、本社所在地:東京都港区、以下「ANAHD」)は、「高専インカレチャレンジ第三弾」(以下「本チャレンジ」)の最終審査会を3月30日に実施しましたのでお知らせいたします。

2021年からSMBC日興証券が主催し、三回目の開催となった今回はANAHDと連携し2月18日に開幕しており、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全行程オンラインで実施されました。全国の高等専門学校(以下「高専」)を対象に、学生17名が5チームに分かれ、企業から出題された実践課題に取り組みました。異なる高専の学生同士でチームを組み、起業家を中心とする高専卒業生のメンターから助言を受けながらアイデアを競い合いました。

本チャレンジには、ANAHDから、2つのテーマ「ANAのアセットを活かしたメタバース世界(ゲーム含む)を考えてみよう!」、「ANAグループが使っているモノのアップサイクル(廃棄予定の物に、新たな付加価値を与えて生まれ変わらせること)を考えてみよう!」が出題され、全国の高専生がチームに分かれ、新しいアイデア創出に向け取り組みました。最終審査会では、ANAグループの社員を中心に構成される審査員団に対して、力のこもったプレゼンテーションと高専生ならではの試作品を用いた実演がチームごとに行われ、UX/UIを具体的にイメージできる状態にまで落とし込んだハイレベルな提案が繰り広げられました。

審査の結果、最優秀賞には、小中学生がゲーム感覚でアップサイクルについて学べるパズルゲームなどを発表した「アップサイクル×教育」チームが選ばれました。アップサイクル自体の認知度向上を課題として捉え、小中学生を対象としたゲーム型教育を実施することで解決を図るという点が高く評価されました。秋田高専、国際高専、石川高専、新居浜高専により構成されたチームの発案で、まさに異高専のパワーを結集した内容となりました。また、独創的なアイデアに対するチャレンジ賞も用意され、メタバース空間上で好きなインフルエンサーの考えたツアーに参加することで旅行プランが立てやすくなる「Travelopia 旅行プランの理想郷」を発表した苫小牧高専、釧路高専、石川高専のチームに贈られました。

今後も全国の高専および高専卒業生との連携を深めながら、SMBC日興証券では、地域密着かつ専門性の高いユニークな技術教育カリキュラムを持つ高専生を支援し、ANAHD では、今回の高専インカレチャレンジを契機に、さらなる産学連携の強化を目指してまいります。

＜参加チームのビジネスアイデア＞

タイトル	概要
【最優秀賞】 アップサイクル×教育	小中学生を対象としたアップサイクルに関するゲーム型教育を実施することで、アップサイクル自体の認知度向上を企図
【チャレンジ賞】 Travelopia 旅行プランの理想郷	メタバース空間上でインフルエンサーが考えたツアーに参加し、旅行プランが立てやすくなることで、現実世界での旅行へ誘導
3D Observe	搭乗者が客室乗務員とコミュニケーションを取りやすくするためのアプリケーションと、MR グラス※を着用したオペレーターの導入
Sky Mission Flight Adventure	ANAHD が有する機体や航空画像を用いたハイクオリティな VR フライトゲームをプレイし、現実世界で使用できるポイントを獲得
Hi Paint	機内の余暇時間を搭乗者同士で楽しむことができる VR 空間上のお絵描きサービスを提供するほか、作品に付随した商品を販売

※ ディスプレイを通して現実世界にデジタル情報を重ねるメガネ型のデジタルデバイス

以上